

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-164392

(P2003-164392A)

(43)公開日 平成15年6月10日 (2003. 6. 10)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

A 47 K 11/10

識別記号

F I

A 47 K 11/10

マーク\*(参考)

2 D 0 3 6

審査請求 有 請求項の数2 書面 (全2頁)

(21)出願番号

特願2001-402335(P2001-402335)

(22)出願日

平成13年11月30日 (2001. 11. 30)

(71)出願人 000124498

河村 光恵

愛知県名古屋市北区如意2丁目145

(72)発明者 河村 光恵

愛知県名古屋市北区如意2丁目145番地

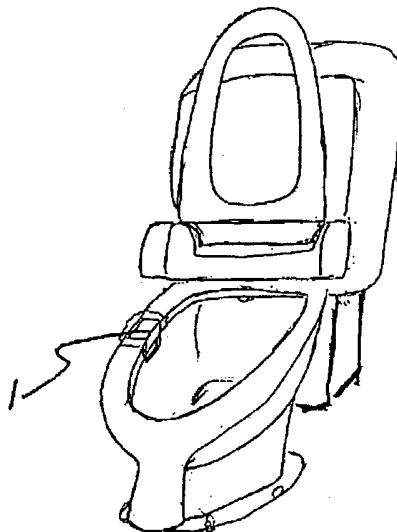
Fターム(参考) 2D036 DA22

(54)【発明の名称】 便器の中のふちの裏を洗う器具

(57)【要約】

【課題】便器の淵の裏は見えなく洗いにくい。古い歯ブラシで洗っても、しっかり洗えない。知らない間に汚れがたまり、力をいれないと、きれいにならず困っていた。

【解決手段】便器のまわりの汚れは見えなく洗いにくい。古い歯ブラシなどでは小さく、ブラシの先がつかえて、むらむらにしか洗えなかった。図3の便器洗い機はしっかり力が入り、溝溝なく洗えるようになった。5の鏡で確かめては洗えて安心になった。ひどい汚れは器具にペーパーを乗せてこすれば汚れが落ちるようになった。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 紙に薬をしみこませたり、汚れのひどい時はペーパーをのせて便器のまわりにしっかりとはさんで固定させ図2、手で洗うことの出来る器具。

【請求項2】 きれいになったか、確かめる鏡をついた。。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明に属する技術分野】便器の中の淵の裏は見えなく、力を入れて洗いにくい。力を入れてしっかりと洗える器具が欲しいと考えた。

## 【0002】

【従来の技術】便器の淵の裏は見えなく洗いにくい。古い歯ブラシで洗っても、しっかりと洗えない。知らない間に汚れがたまり、力をいれないと、きれいにならざつ困っていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】見えない部分を満遍なくこすることが出来、トイレ洗剤もつけられ洗えるようにしたい。汚れのひどい時はペイパーでこすりたいと思った。

## 【0004】

【課題を解決しようとする手段】上記のよう課題を解決しようとする構想は、洗えたところと、洗えないところがないよう、また便器洗い洗剤がまんべんにつくように図4の器具に図3のように紙をのせそこに洗剤をしみこませ、便器の淵に、はさんでこするようにした。汚れのひどい時は、この器具にペーパーをはさめば、むらなく

しっかりと汚れが洗えるものなり。

## 【0005】

【発明の実地の形態】図4の器具に紙をひき、薬をしみこませ、図2のように便器にはさみ、器具の下の2部分に指先を入れ、上に持ち上げて左右にこするものとす。

## 【0006】

## 【実地例】

## 【0007】

【発明の効果】便器のまわりの汚れは見えなく、洗いにくい。古い歯ブラシなどでは、小さく歯ブラシがつかえて、むらむらにしかあらえなかった。図3の便器洗い器具はしっかりと力がはいり、満遍なく洗えるようになった。5の鏡で確かめでは洗えて安心になった。ひどい汚れはペイパーを器具に乗せてこすることできれいになる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 便器に洗い器具を取り付けたところ。

【図2】 便器の断面図。

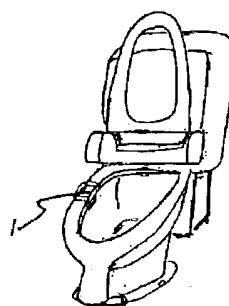
【図3】 洗い器具の持ち方

【図4】 便器洗い器具

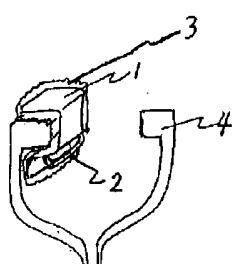
## 【符号の説明】

- 1 便器の淵にはさんで手で便器を洗う器具。
- 2 器具を左右に動かす時の取っ手。
- 3 トイレに流してもよい紙、トイレの洗剤をしみこませた紙。
- 4 便器の断面図
- 5 きれいになったか確かめる鏡

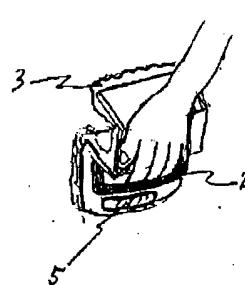
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】



DERWENT-ACC-NO: 2003-476420

DERWENT-WEEK: 200345

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Washing instrument for reverse side  
edge of toilet device, has paper infiltrated with  
toilet detergent and sandwiched firmly in washing  
instrument for washing reverse side edge of toilet device by  
hand

PATENT-ASSIGNEE: KAWAMURA M [KAWAI]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0402335 (November 30, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	
LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2003164392 A	June 10, 2003	N/A
002	A47K 011/10	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP2003164392A	N/A	
2001JP-0402335	November 30, 2001	

INT-CL (IPC): A47K011/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003164392A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Toilet detergent is infiltrated into a paper sandwiched firmly in a washing instrument (1) for washing the reverse side edge of a toilet device by hand. A mirror is attached at the lower portion of washing instrument to confirm if the reverse side edge of the toilet device is cleaned.

USE - For washing reverse side edge of toilet device.

ADVANTAGE - Prevents irregularity when washing reverse side edge of toilet device. Prevents stain on toilet device.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective diagram of the toilet device with a washing instrument.

Washing instrument 1

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: WASHING INSTRUMENT REVERSE SIDE EDGE TOILET DEVICE PAPER

INFILTRATE TOILET DETERGENT SANDWICH FIRM  
WASHING INSTRUMENT  
WASHING REVERSE SIDE EDGE TOILET DEVICE HAND

DERWENT-CLASS: P28

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-379519